

施設情報

入居相談などお気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはWeb「[ウェルケア伊豆高原](#)」で今すぐ検索!!



新年祝賀会と新春祝膳



元日は、暮れから大寒波が続き、朝から冷え込みが強くとても寒い日でした。こんなにも寒いお正月は、伊豆高原ではとても珍しいことでした。



この日は、年に一度の晴れ姿という大げさですが、普段お化粧をされないご入居者の方にも、紅をささせていただいて、縁起物として、元日記念写真を撮らせていただきました。「土台が土台だから」と遠慮される方もいらっしゃいましたが、撮影者の土台も土台なので、「せっかくの機会ですから」と撮影に応じていただきました。「早く自分を撮影してほしい」とおっしゃる方もいらして、美男美女の方からはお話しできず、「順番をお願いします」と少しお待ちいただいてから、撮影させていただきました。

元日の新年祝賀会では、社長の葛城から、ご入居者の皆さまに、うんぬんかんぬんとお話しさせていただきました。新しい年を祝い、皆様のご健康とご多幸を願いました。



皆さんが楽しみにしていた新春祝膳、今年も食べきれないぐらいのお料理が盛りだくさんでした。今回も皆さんのお目当ては、お寿司三種盛！平目、鮪、縹鰯です。毎年満腹でも、「お寿司だけは・・・！」と言って食べてください。

他にも祝肴には、おせちには欠かせない半月の形が元旦の「初日の出」のようだといわれがあるかまぼこや、柚子の香りが華やかな伊達巻、黒豆、昆布巻きなどの縁起物が9種類ありました。温物には、茄子を宝船に見立てて作られた船の傍らには人参で作られた日の出が演出されているお料理です。

船の上には、海老や、鶴の形をした里芋、銀杏が飾られていました。おせちの中でよく海老を目にしますが、長いひげや腰が曲がっている様子から、「腰が曲がるほど長生きをする」という長寿祈願の意味が込められているそうです。ウェルケアのご入居者様も今年一年健康にお過ごしできますように。



認知症について

スタッフ コラム

私は以前の職場で、ご家族様から『認知症になって困っている』と相談をしていただきました。お話を伺っていて思ったことを書きたいと思います。

ご本人の“困っている”とご家族の“困っている”が異なっていることが多いのではないかと感じることがありました。そんな時、私が言っていた言葉は、『認知症になったとしても、“人となり”は変わらないので、これからも変わらず接していただき、認知症への配慮の方法を身近な専門職に聞いてみるのがいいですね。』とお伝えしていました。

どうしてもご家族としては、ご本人に頑張ってもらいたいという気持ちが強く、ご本人もそれに答えたい気持ちが強く、近くで見ているとちぐはぐなことになってしまい両者ともに困ってしまっている状況が多いようです。

認知症は病気ですが、“痛い”“苦しい”といった症状でなく、“生活の困難さ”として出現するためご本人が変わってしまったと感じて気持ちが辛くなることもあると思いますが、病気なので対処の仕方も沢山あります。今までとかわらず家族としての関係が良好に保てる方法をみつけ、“困っている”が解消できるようお手伝いしていきたいと考えています。



正月遊び



正月三が日に、年中行事やおなじみの正月遊びを行いました。



元日は、百人一首を行いました。マイクを持った職員が朗々と上の句を読み始めたら、さっそく札を探し始めるご入居者の方もいらして驚きました。

2日は、書初めを行いました。「何だかうまく書けない」とおっしゃり、書いては丸めてを繰り返すご入居者の方もいらっしゃいました。「春の七草」「福わらい」などのお手本を皆さまで取替っこしながら、書初めを楽しんでいらっしゃいました。



3日は、福笑いを行いました。「これは何かしら」と一つ一つ、まるで手に取った洋服が似合うかどうかを確かめているかのように、しっかりと確認して目や鼻などを置いていかれるので、皆さま出来栄が良すぎでした。とんでもおかしい出来はありませんでしたが、昔ながらの正月遊びを懐かしまれたのか、始終、笑顔で楽しめました。

初詣 ～佛現寺～

1月中旬ごろに、少人数に分かれて、伊東市内にある佛現寺に初詣に行きました。「おみくじが引きたい」とおっしゃって、嬉しそうにされていました。



2月の予定

| | |
|--------|------------|
| 2日(水) | 節分会 |
| 17日(木) | 三島信用金庫来館 |
| 23日(水) | 移動美容室はしば来館 |
| 毎週水曜日 | ナガヤ買物 |
| 毎週土曜日 | こんがりあん移動販売 |
| 毎週日曜日 | 休浴日 |



編集後記

初詣で市内の佛現寺を訪れたところ、「初詣でお寺さんに行くは初めてかもしれない」「大みそかは除夜の鐘を突いてお寺にお参りし、そのまま神社で初詣する二年参りもありましたね」とご入居者の方々とお話しました。子どもが多かったところは、除夜の鐘も百八つ以上突かれていたようにも思います。信心深くなくても、家族や友人などと一緒に、また、清められた境内で年を越せるのは、とても心地よいことだと思います。ちなみに、佛現寺さんからお札を授けていただきました。さて、今年の冬は伊東らしからぬ寒さが続いています。雪の備えが甘いので、雪の日には誰も彼もが右往左往しました。春が来るのはまだまだずっと先だと思っていたら、ウェルケア伊豆高原の周りには、梅の花が咲いていました。次は桃か、次は桜かと、待ち焦がれながら過ごしていこうと思います。(M)

